

JOMF 派遣医師便り (2015. 11)

◆ジャカルタ◆

乳がんについて (No. 2)

JJC 医療相談室

伊藤 通敏

乳がんの診察には、マンモグラフィーの他に、視触診、エコーを行います。

視診で、乳房の皮膚に、凹みはないか、赤くなってないか、ピッグスキン様になっていないか等を診ます。

次に、触診で、乳房にしこり、かすかな抵抗などを探り、
最後は、エコーで、乳房の全体の流れを、総合的に診ていきます。

以上の診察で、がんと思われる場合は、確定診断の為に、乳がんと思われるしこりから、細胞を取ってくる、生検を行います。

がんではなさそう場合、また、エコーでのみ分かる小さなしこり(例えば大きさが2~3mm)の場合は、1~2ヵ月後に、再度、エコーで、大きくなっているかどうかを診ます。
大きくなっていれば、積極的に、細胞を取って調べますが、大きくなっていなければ、今度は3~4ヵ月後、再々度、エコーで大きさの変化を診ていきます。

乳がんは、唯一、本人が、見つけることのできるがんと言われてています。

よく触っても分かりませんと言われる方が多いのですが、分からないなりに、
日頃、触っていると、自分自身の体の、変化に気がつくことがあります。
(何事も、日頃が大切ですな~！)

いつもと違って、最近、乳房のここが硬くなった様に感じますと言って、
来院される方を診てみると、確かにしこりがあり、乳がんであったことが、
時に見受けられます。

できましたら、1~2年に1度くらい、乳がん検診を受けてください。

また、自己検診として、
閉経前の方は、生理後約1週間の乳房がやわらかくなっている日にでも、
閉経後の方は、誕生日と大体同じ日にでも、1ヵ月に1度、
入浴前後に、鏡の前で、自分の両方の乳房を、見て、触ってみてください。

では、また。